

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局 〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレイنزヒル岩崎201
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <https://cornerstone.or.jp>



新しい車を購入しました!(カンボジア孤児院)

皆様の御支援、御協力、いつもありがとうございます。

円安が続く中、日本国内の産業においても輸出産業と輸入産業とで大きく明暗が分かれてきそうな今の状況ですが、海外の孤児院においても同様で、その運営においてはかなりの厳しいところを通らされております。私共の各孤児院も働きはあるものの、運営費が不足の傾向にある為思うように活動の手を広げることができず、苦戦しているのが正直なところ。

このような厳しい環境のなか、先日、有志達が集うキャンプの中で開催された孤児院報告会では、都合により数時間遅れの開始となりましたが、それでも多くの方々が集まって下さり、終了後の募金活動では、過去のキャンプ内の報告会の倍以上の募金が集まり、本当に感謝の思いでした。

何よりも、集まって下さった方々が、私共孤児院に深く御理解をいただき、また、子供達に対しても深く関心を持っていただけたことが嬉しく思いました。

子供達は皆様お一人お一人のお顔は御存知ではありませんが、皆様に関心を持っていただいていることは良く知っております。そして、その関心によって、今支えられ、生かされていることも知っております。

皆様の御支援は子供達一人一人の命に結びついております。どうかこれからも皆様の御支援、御協力、何卒よろしくお願い致します。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアプスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。12年生達(高校3年生)はすでに後期試験を終えており、いよいよ最後の高校卒業試験が10月に行われる予定です。全国統一試験になりますので、名前によって試験を受ける学校が指定されて、他校生が入り混じって毎年試験が行われています。嬉しい結果を皆様にご報告出来るようにと願っているところです。職業訓練校でパン作りを学んだCは、仮採用が7月に終わり、いよいよ具体的に自立の為の手続きに入る予定です。まだもう少し準備が必要ですが、これまで長期にわたりご支援くださいました皆様に心から感謝を申し上げます。1人1人が成長し巣立って行く喜びと共にちょっと寂しさもありますが、Cもこれから社会人として自分の行動に責任を持って進んで行って欲しいと願っています。今年も子ども達と出掛ける遠出の計画をスタッフ達と共に話し合っています。なかなか一緒に出掛ける機会がありませんので、学校が休みに入る10月頃を考えています。その為に400ドルほどが必要です。この為に皆様からのご支援を頂ければ幸いです。どうぞ、よろしくお願いいたします。



仮採用を終えたC(写真右)と高校卒業試験を控えた12年生のN(左)

フィリピン孤児院レポート

エレノア・V・タイロス

フィリピンの子どもたちに対する皆様のご支援を心から感謝致します。
8月に入り、新学期の開始とともに保護者のためのオリエンテーションが行われました。一方で子どもたちは、8月は言語と文化月間なので、その行事のために準備しています。また子どもたちは衣裳のための費用を親達にお願いしています。この行事はフィリピンの歴史と文化を学ぶためにもとても有意義です。皆様に重ねて今年度の必要のためにご支援とご協力をお願い致します。今年度は32名の子どもたちの就学支援を行います。その必要総額は\$8,164.90(約130万円)になります。32名の子どもが皆様の温かいご支援を待っています。それとともに、今年こそは各地域を回って働きを強めるための車を購入したいと切に願っています。このためにも皆様のご支援ご協力を、心よりお願い申し上げます。



保護者のためのオリエンテーションが行われました

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?皆様の日頃のご支援に心より感謝申し上げます。ザンビアは干ばつの影響で、更に停電時間が12時間/日~3日間に延長され、日々生活難との闘いです。そんな中で、日本のタイガーモブという会社を通して、今年も11人の日本の若者たちがスタディツアーで私たちの学校を訪問してくれ、5日間、非常に楽しく、豊かな交流を持つ事ができました。スラムの子どもたちは、自分とほぼ同世代の日本の若者達の企画で、たくさんの新しい体験をしました。



皆で壁画を描きました

とうもろこしに砂糖/バター醤油を付けて食べたり、射的や輪投げなども楽しみました。中学生達は、初めてパワーポイントを使ったプレゼンテーションを行い、ザンビアの文化を紹介できました。3月末よりインターンとして、IT教育を担当してくれている日本の大学生E君の努力の集大成であり、終了後には大きな拍手が響き渡りました!さて、中高等学校建設を完成を目指して、新たに見積もりを作成したところ、約6千万(ドルレートにより変動あり)の建設費が必要となっています。引き続き、皆様のご支援を宜しくお願い致します。

松本弘子さんのイラスト



自転車の乗り方を練習するカンボジアの男子